

2020年度



活動報告

N P O 法 人 C o l l a b l e

Collable

「ために」から「ともに」
誰もが障害の有無を超えて参画できる
社会を目指して

Collableは、2013年の設立当初から、
誰もが障害の有無を超えて社会に参画できる
環境づくりに取り組んでいます。
特に、社会と障害当事者との共創体験を持つ
ことと、障害の当事者の社会経験を増やして
いくことが重要だと考え、さまざまな
プロジェクトを生み出してきました。

インクルーシブデザイン
普及に向けた取り組みをスタート

あ
判

徳島県立博物館リニューアル インクルーシブデザインワークショップ

徳島県立博物館の学芸員の皆さま、乃村
工芸社の皆さまに加え、さまざまな障害の
ある方や外国人の方にもご協力いただき、
新しい博物館の鑑賞環境そのものを捉え直
すことにチャレンジしました。
徳島県立博物館は、ワークショップで出た
アイデアを反映して2021年8月に
リニューアルオープン。
ぜひ足を運んでみてください。



インクルーシブデザインの 企業コラボレーション

こども向けワークショップの取り組みが終了したと
同時に、インクルーシブデザイン普及に向けた事業に
注力し始めました。企業とのコラボレーションによるイ
ンクルーシブデザインの取り組みが増えました。

2019
2018

2018
AWARDS
キッズデザイン賞受賞
(株式会社SCSKと
共同受賞)

GATHERING

GATHERINGスタート

障害学生キャリア学習支援事業“GATHERING”
が始まりました。
障害のある若者が社会に関わる準備と、社会が
多様な個人を受け入れる経験を支援することを目的
としています。Collableの新たな基幹事業です。

2020

障害のある学生のキャリア
学習支援をスタート

START! 団体設立

2011年から代表山田が大学院修士課程で取り組ん
できた障害の有無を超えて参加するワークショップ
デザインの実践研究をふまえ、大学院修了後の
2013年5月1日にCollableを設立。インクルーシブ
デザインの普及と、こどもたちが参加できるインクル
ーシブな場づくりの普及を目指して、さまざまな企画
が生まれていきました。

2013

インクルーシブデザインとは
アイデアやデザインを考えるうえで、
特別なニーズや違いのある人に初期
の段階から参加してもらうことで、
より創造的で包括的なデザインを
模索する考え方や手法です。

“CAMP”は未来を担うこどもたち
に向けたSCSKグループの次世代
育成活動です。多様なこどもたち
のためのファシリテーション
マニュアルの作成やオリジナル
ワークショップの開発を
ご一緒しました。



こども向けワークショップの 取り組みが本格化

CAMP (SCSK株式会社)とさまざまなこどもたち
が絵本づくりに取り組めるアプリ「ピッケのつくる
えほん」開発者の朝倉民枝さんとのコラボレ
ーション企画がスタート。以降、障害の有無を超えて、
さまざまなこどもたちのための遊びと創造の
ワークショップを、年に数回の頻度で実施しました。

2014

Collable主催の企画が始動

こども向けワークショップを実施する上で、
Collable主催の企画から運営までを担う一連の
仕組みを整備。それにより、学生主体での企画
づくりが活発化しました。また、他団体との継続
企画なども立ち上がっていきました。

(2015年度：文京区社会福祉協議会助成金にて活動)

2016
2015

2016
AWARDS
コモソズ投信社会
起業家フォーラム
登壇

Collable主催のインクルー デザインワークショップ始動

毎月19日は“インクルーシブデザインの日”と決めて、
有志のメンバーとともに毎月のインクルーシブデザイン
企画が始まりました。

(会場協力：ブランディングテクノロジー株式会社)
こども向けの活動と、インクルーシブデザインの活動
が、並行して動いていくことが増えた時期です。

2017



2016～2018年度
所沢市立小手指小学校にて、
交流及び共同学習ワークショップ
型授業など、学校でのインクル
ーシブな学びの場に関わる機会を
創出しました。
(協力団体：NPO法人演劇百貨店)

障害学生キャリア学習支援事業

GATHERING について

2013年からこれまで、インクルーシブデザインを中心とした、こども向けワークショップや、企業とのインクルーシブデザイン事業など、多様な共創の場づくりに取り組んできました。

そのなかで、Collableとしてさらに取り組むべきなのは、障害のある人たちが社会経験を積む機会を生み出すことだと気が付きました。

そこで、2020年から新たに、障害学生キャリア学習支援事業 GATHERING（ギャザリング）を立ち上げました。

GATHERINGとは

障害のある学生だからこそ、これからのキャリアを考える

GATHERING（ギャザリング）は、動画による学習プログラムの配信やオンライン交流会、企業でのインターンシップなどを通して、自分の未来を考える機会を障害のある学生に届けます。2020年度は、障害のある学生に届けるキャリア応援放送局（YouTube）を立ち上げるために、クラウドファンディングを行いました。157名の方に目標を超えるご支援をいただき、現在は就職活動やキャリアに関する情報、社会人の当事者の先輩の声、就活対策など、さまざまなコンテンツをお届けしています。

障害のある学生を取り巻く課題

障害のある学生の大学進学率は急増しており、全国に**37,647人（2019年度時点）**いると言われています。しかし、

- 障害が理由で、アルバイトやインターンなど社会経験を積みづらい
- 障害のある学生が、自身の障害と向き合い、理解する機会が少ない
- 社会で活躍する障害者のロールモデルと出会う機会が少ない
- 多様な人との接点や交流が少ない
- キャリアの選択において、判断材料とサポート体制に環境差がある

といった課題があることをうけ、キャリアについて考えられるコンテンツの発信・蓄積と、OBOG訪問などが難しい学生に向けて社会人の生の声を届けることを目指し**YouTube**での放送局を立ち上げました。

GATHERING についてはこちらから
<https://collable.org/gathering>



キャリア応援放送局について

限定公開動画も含め、2020年度は全29本の動画をお届けしました。

キャリアライブゲスト協力：

林田絵美さま（株式会社キズキ 執行役員）

平野裕人さま（NPO 法人国際障がい者活躍社会創造協会 副理事）

白井長興さま（NPO 法人シェイクハートプロジェクト 代表理事）

撮影会場協力：

HONGO 22515 さま

放送局のご視聴はこちらから
https://www.youtube.com/c/GATHERING_Collable



クラウドファンディング成果報告

短い期間で、たくさんの方にご支援いただきました。ありがとうございました。

期間：2020年6月11日～2020年7月22日

支援者数：157人

支援総額：1,814,000円（目標金額 1,000,000円）

2021年度からインターンシップ・プログラムを開始

2021年度からは、**障害のある学生が参加できる企業インターンシップ・プログラム“GATHERING Youth”**が始まりました。障害のある学生と一緒に考えたプログラムです。障害のある学生がインターンシップや企業プログラムに参加できる機会は、日本では非常に限られています。障害があるからこそ、早い段階から大学卒業後について未来図を描く準備を進め、不安を解消したいという多くの学生の声から生まれました。学年や障害種別は不問で参加することができます。



障害×自分を分析



企業で実践的に学ぶ



学年・障害不問で参加可能

2020 2020/4/1 ~ 2021/3/31 年度会計報告

経常収益

科目	金額	小計・合計
1 受取会費		30,000
正会員受取会費	30,000	
2 受取寄附金		2,082,772
受取寄附金	2,082,772	
3 事業収益		3,687,039
ワークショップ企画事業収益	2,921,600	
研究開発事業収益	755,000	
啓発活動事業収益	10,439	
4 その他の収益		2,495,505
受取家賃	495,000	
雑収入	2,000,500	
受取利息	5	

経常収益計 **8,295,316**

経常費用 (事業費)

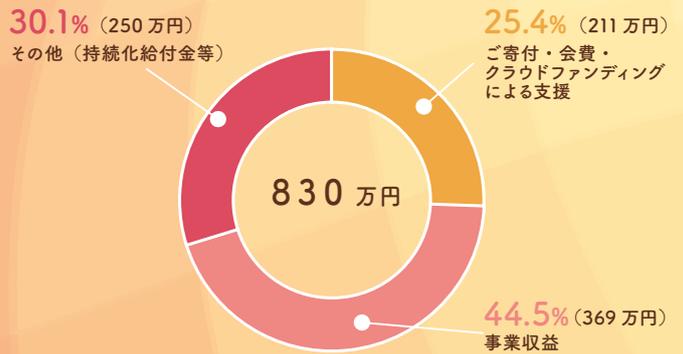
科目	金額	小計・合計
1 人件費		1,193,670
役員報酬	1,193,670	
2 その他経費		2,345,912
交際費	1,589	
会議費	52,179	
旅費交通費	133,468	
通信運搬費	176,393	
諸謝金	21,000	
業務委託費	703,500	
印刷製本費	6,900	
消耗品費	407,901	
ソフトウェア費	20,506	
水道光熱費	43,627	
新聞図書費	19,809	
支払手数料	385,159	
保険料	9,022	
地代家賃	328,259	
賃借料	36,000	
租税公課	600	
事業費計		3,539,582

経常費用 (管理費)

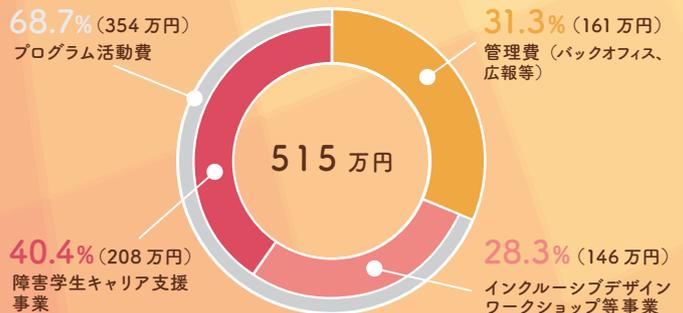
科目	金額	小計・合計
1 人件費		606,330
役員報酬	606,330	
2 その他経費		1,005,129
交際費	807	
会議費	3,170	
通信運搬費	81,124	
印刷製本費	20	
消耗品費	18,893	
ソフトウェア費	36,552	
水道光熱費	22,161	
支払手数料	35,683	
保険料	12,978	
支払報酬料	132,000	
地代家賃	661,741	
管理費計		1,611,459

経常費用計 **5,151,041**

収益の内訳



費用の内訳



私たちと一緒にダイバーシティ & インクルージョンの実現を目指しませんか？

障害のある人たちも含めたダイバーシティ&インクルージョンのための取り組みは、日本でもその重要性への理解が広がってきました。しかし、誰もが社会に参画することを実現するためには、障害のある若者がそもそも社会に出ていかなければ発展していかないという構造にあります。

皆さまのご寄付によって、これからも継続してインクルーシブな場づくりや、障害のある学生へ向けた活動に取り組むことが可能になります。ご自身に合ったご支援方法で、ご協力いただけましたら幸いです。

法人寄付やCSRとしての取り組みを検討している方へ

寄付はもちろん、社員参加型のワークショップや社内研修の実施など、さまざまな方法で協働が可能です。ご検討段階から、お気軽にご相談ください。

詳しくはこちらからお問い合わせください。
<https://collable.org/donation>



新たな一歩を踏み出した2020年

2013年に設立したCollableは、
こどもからおとなまで、多様な人たちが
共創していく場づくりの普及を続け、
2020年度で丸8年となりました。

私たちの取り組みは、創業時は説明
しても理解してもらうことすら困難な
ものではありましたが、今ではその意味
や価値を理解してくださる方が増え、
私たちだけでは成し遂げられないプロ
ジェクトも増えてきました。

私たちがより理解され、さまざまなプロ
ジェクトに継続して取り組めるのは、
これまで支えてくださった方、さまざま
プロジェクトで一緒いただいた方、応援
してくださったすべての方のおかげです。
心より御礼申し上げます。



代表理事
山田 小百合
Yamada Sayuri

2020年は新しい挑戦の年となりました。これまでの取り組みを
振り返り、「誰もが社会に参画できる」という言葉を用いて、
私たちが目指すことを再定義しました。そして次なる取り組み
として、障害のある学生の皆さんを社会に送り出すための
取り組み「障害学生キャリア学習支援事業 GATHERING」を
スタートさせました。コロナ禍だからこそ、オンラインツールや
動画などを活用しながら柔軟にアウトリーチを進め、都内を
中心とした大学の障害学生支援室との関係構築もできつつ
あります。Collableでもインターン生として、障害のある意欲
ある若者とともに、この取り組みを育てている最中です。

創業期から取り組んできた共創の場づくりも、新たに始まった
GATHERINGも、根底には誰もが社会との関係を持ち続ける
ことができることを証明するためにあります。

そして、この数年でその手応えを一段と感じられるよう
なってきました。しかし、まだまだ始まったばかりで、
これからも社会に問いかけ続けなければなりません。
皆さまとともに、次年度もその先も挑戦し続けたい
と思っております。今後ともどうぞよろしく
お願いいたします。

代表理事 山田 小百合

団体概要

Collable

特定非営利活動法人 Collable (コラブル)

「誰もが社会に参画できる」

未来を目指し、障害がある人もない人もお互いが
協力し、共創できるプロジェクトに取り組んでいます。

所在地：

〒113-0033

東京都文京区本郷 3-27-2 興正ビル 301

設立：

2013年5月1日

理事：

山田 小百合 (代表理事)

山内 祐平 (東京大学大学院 情報学環 教授)

菊池 裕史 (Makeblock Japan カントリーマネージャー)

監事：

新井田 統

<お問い合わせ先>

info@collable.org

